

表21 男女別年齢階級別にみた食品群別食物繊維摂取比率(%:1995~1996年)

食品群等	1~6歳	7~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
調査人数	938	1493	973	1592	1734	2086	1817	1641	1157
米類	7.6	7.9	11.4	12.5	11.5	11.0	10.4	9.5	9.3
その他の穀類	17.8	21.3	19.4	17.1	16.0	14.4	11.5	10.9	11.0
種実類	1.6	0.7	0.6	0.7	0.8	0.9	1.3	1.2	1.1
いも類	10.4	12.9	10.2	7.1	7.0	7.1	6.8	6.9	7.5
砂糖類	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
菓子類	1.1	0.8	0.7	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.5
油脂類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
豆類	12.9	9.0	8.0	10.0	11.4	11.2	12.6	14.0	13.7
果実類	14.7	10.3	7.3	5.5	6.1	7.8	9.0	10.7	11.5
緑黄色野菜	11.5	11.9	13.0	13.7	13.8	13.5	14.2	13.8	13.4
その他の野菜	13.5	17.5	19.2	21.5	22.0	22.8	22.6	22.3	22.1
きのこ類	2.9	2.6	3.6	3.9	3.8	4.1	4.4	3.9	3.3
海藻類	4.1	3.4	4.0	4.7	5.1	5.0	5.2	4.7	4.9
調味嗜好飲料	0.8	0.6	1.0	1.0	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2
魚介類	0.7	0.5	0.8	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2	1.1
肉類	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卵類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乳類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の食品	0.4	0.4	0.5	0.7	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2
食品群等	1~6歳	7~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
調査人数	938	1407	877	1747	1731	2255	2072	1855	1652
米類	7.5	6.7	8.3	8.6	8.3	7.6	7.4	7.7	8.3
その他の穀類	17.2	20.9	18.4	19.1	17.9	14.9	12.1	10.4	9.9
種実類	1.6	0.7	0.9	1.0	0.9	1.0	1.4	1.4	1.2
いも類	10.7	12.6	10.0	8.0	7.8	7.4	6.7	7.4	7.4
砂糖類	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2
菓子類	1.1	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4
油脂類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
豆類	12.6	8.6	8.4	9.4	10.1	10.5	12.1	13.7	13.6
果実類	14.7	11.7	10.0	7.6	9.6	11.5	13.8	13.3	12.7
緑黄色野菜	11.2	12.5	14.3	14.2	13.6	14.1	13.9	14.1	14.2
その他の野菜	14.1	17.6	19.4	20.6	21.3	22.2	21.7	21.9	22.3
きのこ類	2.8	2.7	3.3	4.1	3.6	3.9	3.7	3.4	3.1
海藻類	4.4	3.6	3.9	4.2	4.2	4.6	4.9	4.8	5.1
調味嗜好飲料	0.9	0.5	1.0	1.0	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3
魚介類	0.7	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	0.9	1.1
肉類	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卵類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乳類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の食品	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.3	0.2	0.2	0.2

表22 男女別年齢階級別にみた食品群別マグネシウム摂取比率(%:1995~1996年)

食品群等	1~6歳	7~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
調査人数	938	1493	973	1592	1734	2086	1817	1641	1157
米類	16.9	17.1	24.2	25.2	23.5	22.4	22.1	21.4	21.5
その他の穀類	5.0	4.3	4.4	4.0	3.8	3.4	2.9	3.0	3.1
種実類	1.0	0.5	0.4	0.5	0.5	0.6	0.9	0.9	0.9
いも類	6.4	6.8	4.2	3.4	3.5	3.3	3.1	3.0	3.8
砂糖類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
菓子類	0.9	0.8	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
油脂類	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
豆類	13.9	17.8	13.4	12.9	14.5	15.5	17.1	19.4	19.7
果実類	7.4	4.7	3.4	2.4	2.8	3.4	4.0	5.3	6.0
緑黄色野菜	6.5	6.7	6.7	6.7	6.8	6.9	7.8	8.1	8.3
その他の野菜	5.7	7.0	7.0	7.2	7.1	7.2	6.9	7.0	7.0
きのこ類	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5
海藻類	1.9	1.4	1.7	1.9	2.1	2.1	2.4	2.6	2.8
調味嗜好飲料	8.0	7.5	11.0	15.2	16.7	16.4	14.9	12.5	10.6
魚介類	5.0	4.7	5.4	5.8	6.8	7.7	8.4	7.8	7.3
肉類	5.6	6.7	9.2	8.9	6.7	6.0	4.9	3.9	3.6
卵類	1.7	1.5	1.8	1.6	1.6	1.6	1.3	1.2	1.3
乳類	13.5	11.9	5.9	3.4	2.8	2.6	2.5	3.0	3.4
その他の食品	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
食品群等	1~6歳	7~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
調査人数	938	1407	877	1747	1731	2255	2072	1855	1652
米類	16.4	14.8	18.8	19.0	18.4	17.7	17.6	18.8	20.3
その他の穀類	5.2	4.6	4.8	5.2	4.8	4.1	3.4	3.1	2.8
種実類	1.1	0.5	0.7	0.7	0.7	0.8	1.1	1.2	1.1
いも類	6.0	7.0	5.1	4.2	4.1	3.9	3.4	3.9	4.1
砂糖類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
菓子類	1.1	0.6	0.7	0.6	0.5	0.3	0.1	0.1	0.1
油脂類	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
豆類	13.9	17.8	13.7	13.4	15.2	16.4	17.9	19.5	19.0
果実類	7.6	5.4	5.0	3.7	4.5	5.5	6.9	7.1	7.0
緑黄色野菜	6.6	7.3	8.1	7.8	7.6	8.3	8.9	9.3	9.2
その他の野菜	5.7	7.4	7.8	7.9	7.8	8.0	7.5	7.4	7.4
きのこ類	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5
海藻類	1.9	1.4	1.9	1.9	2.2	2.6	2.8	2.8	3.1
調味嗜好飲料	8.7	7.9	12.3	15.6	15.9	15.1	13.2	10.8	9.8
魚介類	5.1	5.1	5.7	6.2	6.2	6.4	7.0	6.7	6.9
肉類	5.5	6.2	7.3	7.1	5.6	5.3	4.4	3.6	3.3
卵類	1.9	1.6	2.1	1.8	1.6	1.5	1.3	1.2	1.3
乳類	12.7	11.8	5.2	4.2	4.3	3.5	3.7	3.8	3.8
その他の食品	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1

平成15年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

## 日本における女性の健康障害に関する疫学的研究

邱 冬梅、稲葉 裕、黒澤美智子（順天堂医学部・衛生学）

瀬上清貴（国立保健医療科学院・公衆衛生政策部）

要約：日本における女性の健康問題の実態を明らかにするための基礎資料として、最近の人口動態調査（死亡票）統計および患者調査に基づき解析を行った。1995年から2000年まで死亡率の年次推移をみることにより胆のうがん、くも膜下出血、慢性リウマチ性心疾患及び慢性非リウマチ性心内膜疾患で女性に多いことが確認された。また年齢階層別死亡率において、女性に多い疾患の中でも疾患により死亡数の年齢分布はそれぞれの特徴があることが認められた。患者調査による分析では女性に高い受療率を示す疾患の患者数の年齢分布の特徴が明らかとなった。全死因の職業別死亡率ではすべての年齢階層が精神的ストレスの多い管理的職業で女性の死亡率が男性より高かった。

### はじめに

女性の健康に関する研究は欧米では最近急速に増加しているが、日本国内においてははまだ少ない。本研究では日本の女性の健康問題研究の基礎資料とするために、最近の人口動態調査（死亡票）統計および患者調査を利用して、解析を行った。

### 資料および方法

①1995年～2000年までの人口動態死亡統計（性・死因・年齢別死亡数のCD-Rを解析しやすいように加工したもの）：昭和60年モデル人口を標準人口とした直接法による年齢調整死亡率を計算したうえ、女性に多い疾患の年次推移を観察した。年齢構成は0-14、15-49、50-64、65-74、75-の5段階で分けたが、胃がんに対しては0-39および40-の2段階で分けた。②1996（平成8年）年および1999（平成11年）年の患者調査：女性が男性より受療率が高いとされてきた疾患を選出し、推計患者の受療率の年齢分布の特徴を検討した。年齢構成は15-24、

25-44、45-64、65-で分けた。③1990年（平成2年）人口動態職業・産業統計：全死因において職業・産業別の年齢群別死亡率を算出した後、男女の比較をした。年齢構成は15-49、50-64および65-74の3段階で分けた。

### 結 果

①これまでに注目されてきた女性に多い死因は、最近の統計でも女性に多いことが確認された。この内、胆のうがん及び慢性リウマチ性心疾患では50歳以降で特に性差が広がって来ており、くも膜下出血では65歳以上で、また慢性非リウマチ性心内膜疾患では75歳から性差が広がってきていることが明らかとなった。併せて、男性に多いとされている胃がんが、若い年齢階層では逆に女性に多いことも確認された。（Fig1～Fig6）②すべての年齢階級において、女性患者の受療率が男性より高い疾患はカンジダ症、甲状腺中毒症、神経症性障害・ストレス関連および身体表現性障害、結

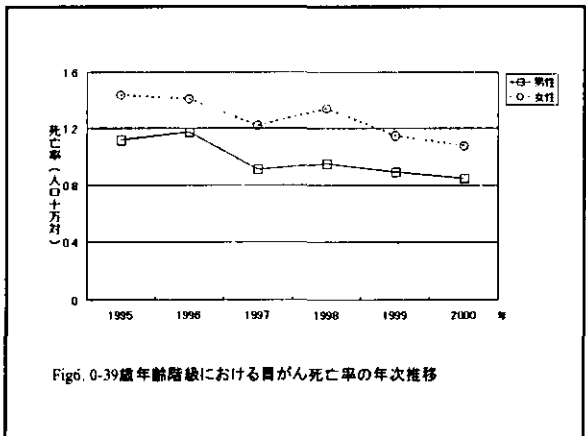
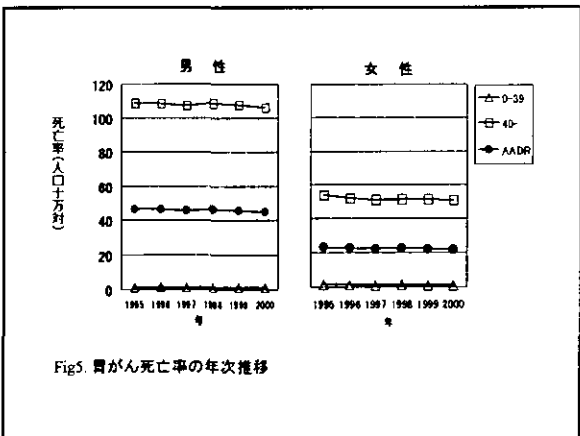
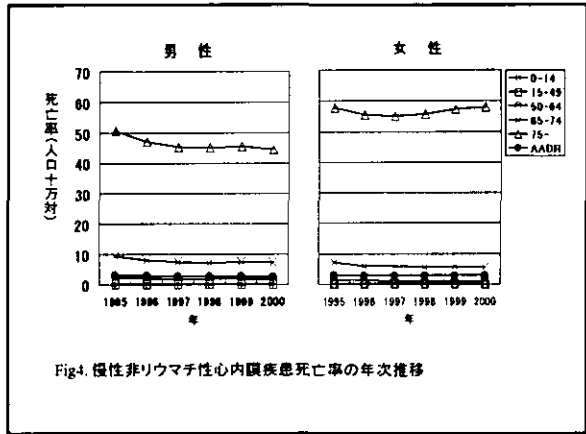
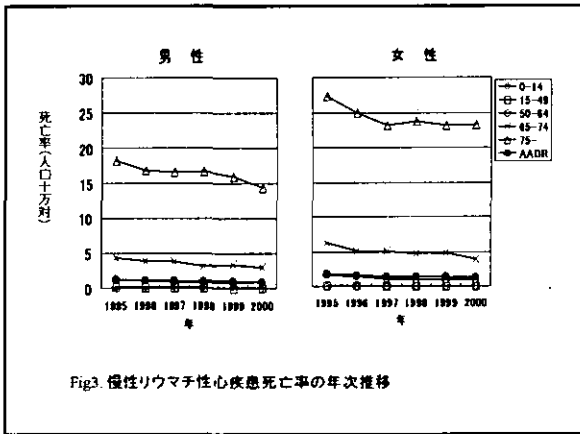
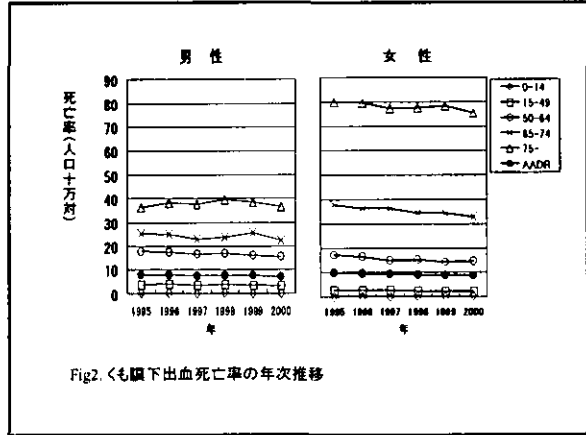
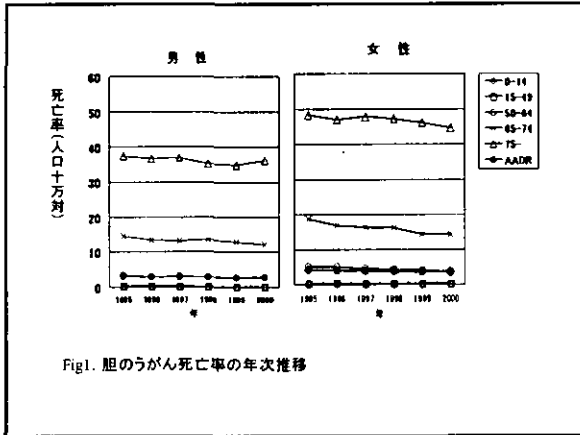
膜炎、メニエール病、胃炎および十二指腸炎、便秘、頸腕症候群および膀胱炎であった。理由としては、これらの疾患では女性ホルモンの変化との関連が少なく、女性自身の生理構造などに関連していることが考えられる。25歳以上で女性患者受療率が男性より高い疾患は甲状腺の悪性新生物および骨粗しょう症であった。このうち、骨粗しょう症の受療率において、45-64歳が25-44歳より男女差が急に大きくなったことは女性ホルモンの部分的な影響が考えられる。45歳以上で男性より女性受療率が高い疾患は高脂血症、アルツハイマー病、白内障、本態性高血圧、慢性リウマチ性心疾患、くも膜下出血および大腿骨骨折であった。特に高脂血症また本態性高血圧では24-44歳において女性の受療率が男性より低く、45歳以上になると、逆に女性のほうが高くなった。大腿骨骨折においても同じような変化が見られた。これらの疾患では女性ホルモンは予防因子であることが考えられ、閉経後に男女の生活習慣の差の影響が明らかになってきたためと推測される。

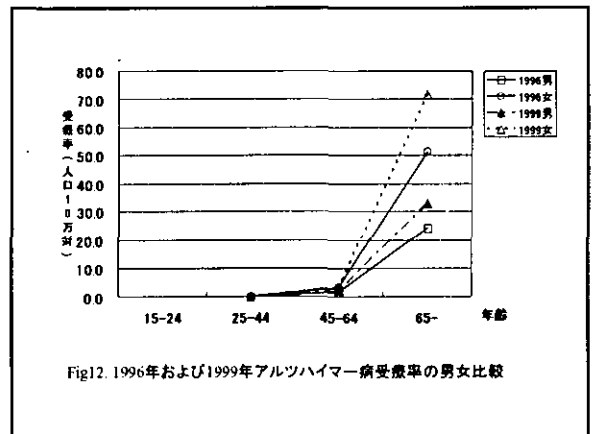
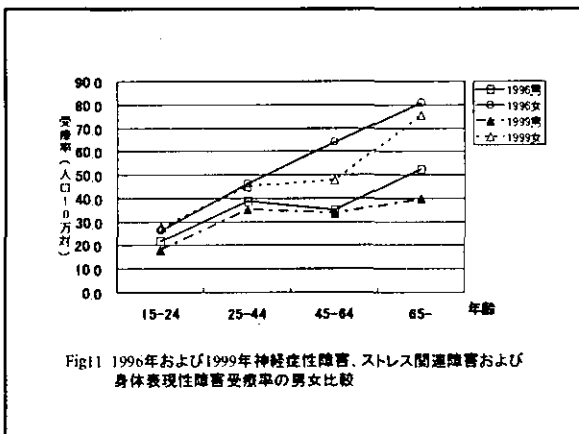
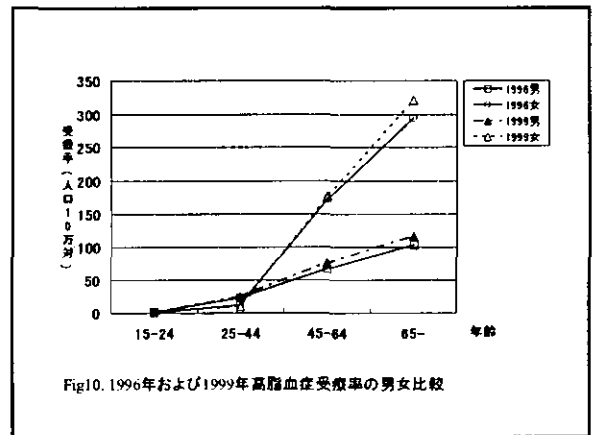
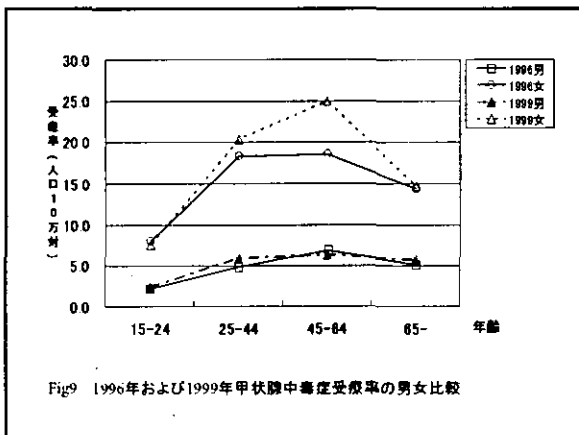
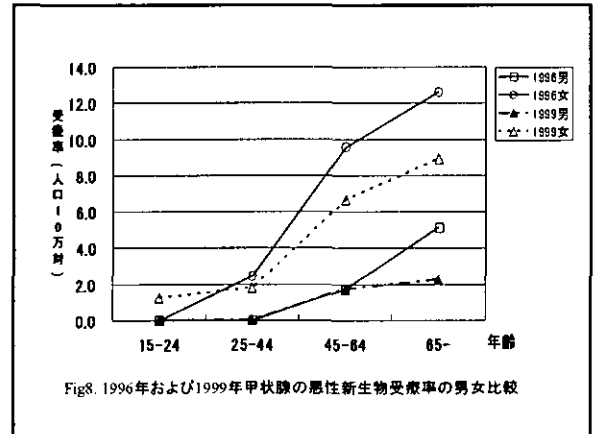
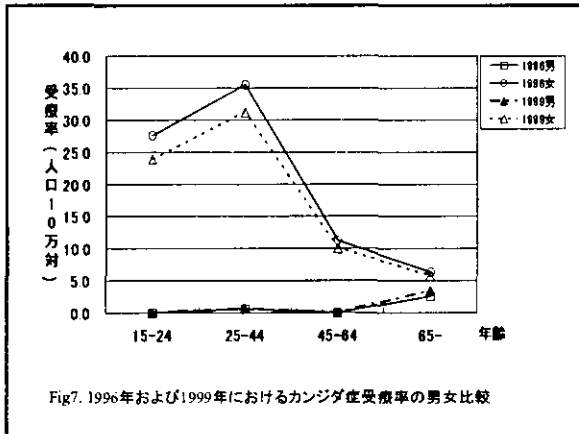
(Fig7~Fig24)③多くの職業において女性の全死因年齢調整死亡率が男性より低かったが、専門的・技術的職業、管理的職業また事務においては女性が高値であった。すべての年齢階級に関して精神的ストレスの多い管理的職業女性従事者の死亡率が高い傾向が見られた。産業別にみると、第1次産業の林業、漁業などの激しい労働である産業で女性の年齢調整死亡率が高くなり、第二次産業においても同じような結果が見られた。ほとんどの第3次産業は女性従事者の年齢調整死亡率が低かったが、運輸・通信業および公務が高かった。林業の15-49

歳、建設業また運輸・通信業の65-74歳の女性死亡率が高かった。(Fig25~Fig45)

#### 今後の計画

1990年からの死因データおよび1993年の患者調査についても本年度と同じように分析する予定である。1990年産業別・職業別の統計に対して各疾患に拡張し、さらに1995年及び2000年のデータについても同様に解析する。一部分の死因に対して地域別・産業別・職業別および一部分の地域別患者数の磁気テープを申請中で、データを入力でき次第に分析する予定である。まとまった結果は栄養調査などの既存資料を用い、女性に多い死因・疾患と生活習慣との関連を可能な限り明確にする。





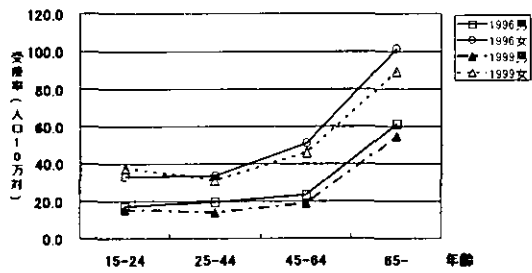


Fig.13. 1996年および1999年結核炎受療率の男女比較

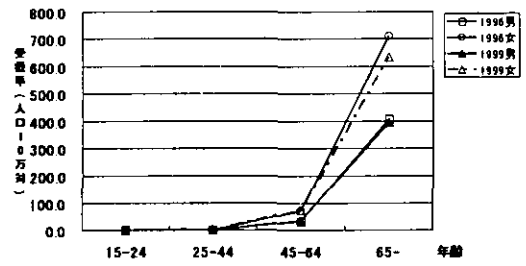


Fig.14. 1996年および1999年白内臓受療率の男女比較

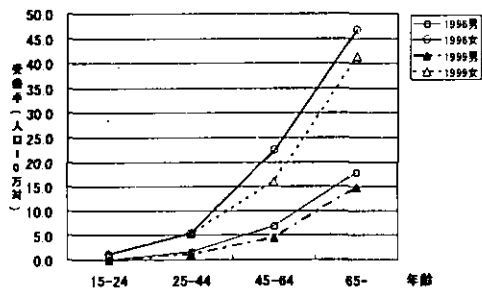


Fig.15. 1996年および1999年メニエール病受療率の男女比較

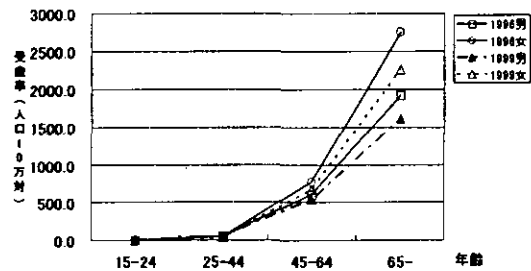


Fig.16. 1996年および1999年本態性高血圧受療率の男女比較

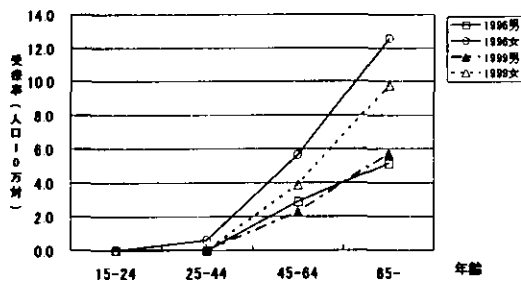


Fig.17. 1996年および1999年慢性リウマチ性心疾患受療率の男女比較

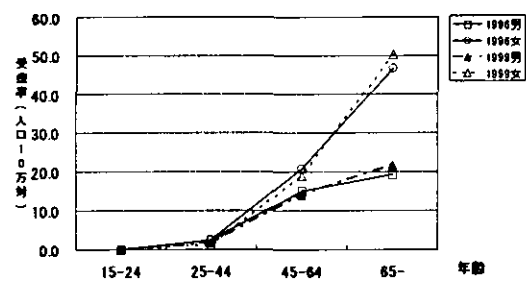


Fig.18. 1996年および1999年くも膜下出血受療率の男女比較

